

HARIO

〔家庭用〕

V60 Electric Coffee Grinder Compact

V60 電動コーヒーグラインダーコンパクト

取扱説明書

保証書付

ご購入ありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本書には保証書が付属しておりますのでお読みになりましたら、大切に保管してください。

EVC-8
説明書1904

日本国内専用

安全上のご注意

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  +  =  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  +  =  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  +  =  電源プラグをコンセントから抜いてください  +  =  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

電源プラグ・電源コンセントについて

警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源コードや電源プラグが痛んでいた、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。修理は販売店または弊社ご相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷ついたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



ご使用について

警告

グラインダー本体を丸洗いや、水をかけたり浸けたりしないでください。故障の原因になり、また感電する恐れがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電や手指に怪我をする恐れがあります。



コーヒー粉ノズルの中に直接手指をいれないでください。大怪我をする恐れがあります。



注意

粉受けの容量を超えて豆を挽き続けた場合、豆が詰まりモーターに負荷がかかることがあります。一度に挽く豆の量はホッパーに記載のMAX目盛り(p.6)参照を超えない量にしてください。



コーヒー豆以外でのご使用はお控えください。故障や詰まりの原因となります。

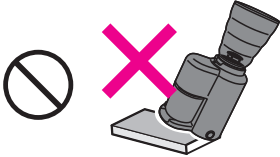


安全上のご注意

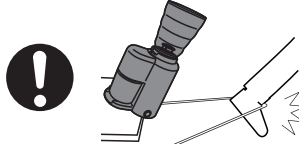
設置場所について

⚠ 警告

不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因になります。



電源コードは足やものに引っかかると、本体の落下や転倒によりけがの原因となります。十分注意して配置してください。



⚠ 注意

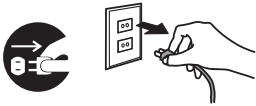
長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



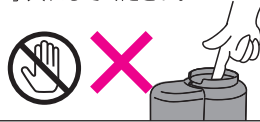
お手入れについて

⚠ 警告

お手入れするときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



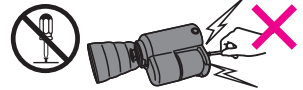
白のクリーニングの際は白本体に直接手で触れるとケガする可能性があります。必ず備え付けのブラシでお手入れしてください。



故障した場合

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動して怪我をすることがあります。



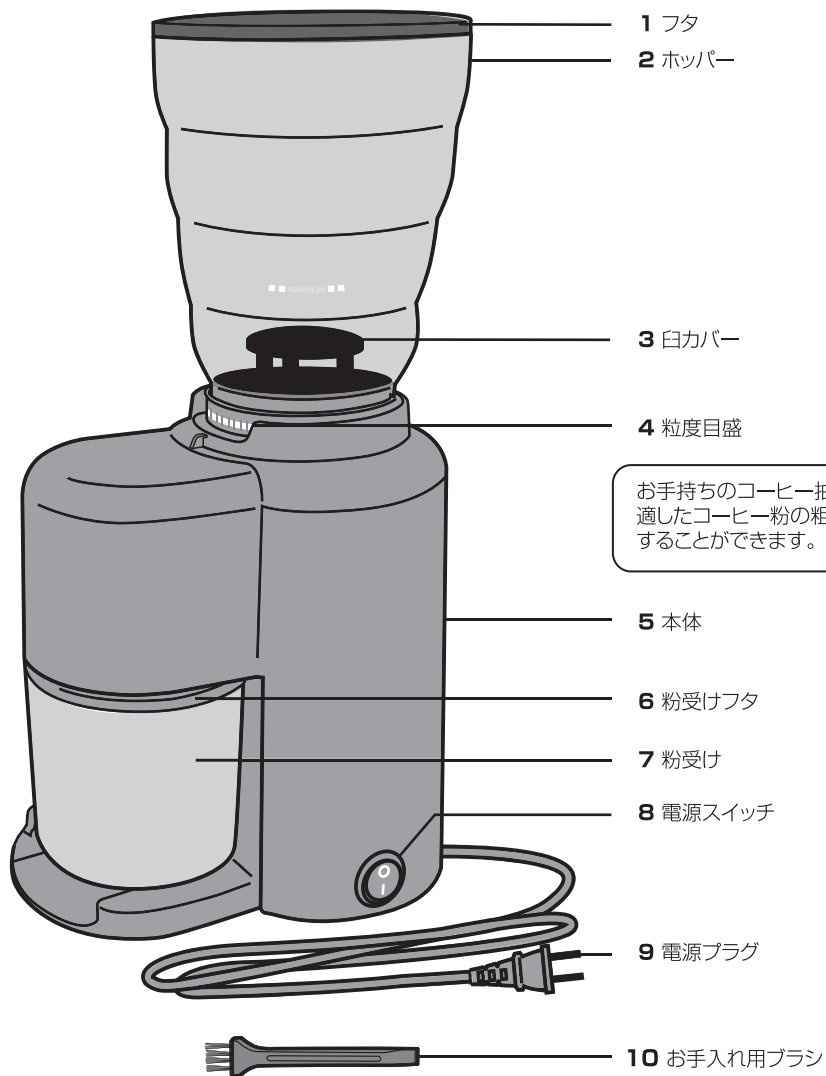
廃棄について

⚠ 注意

廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。

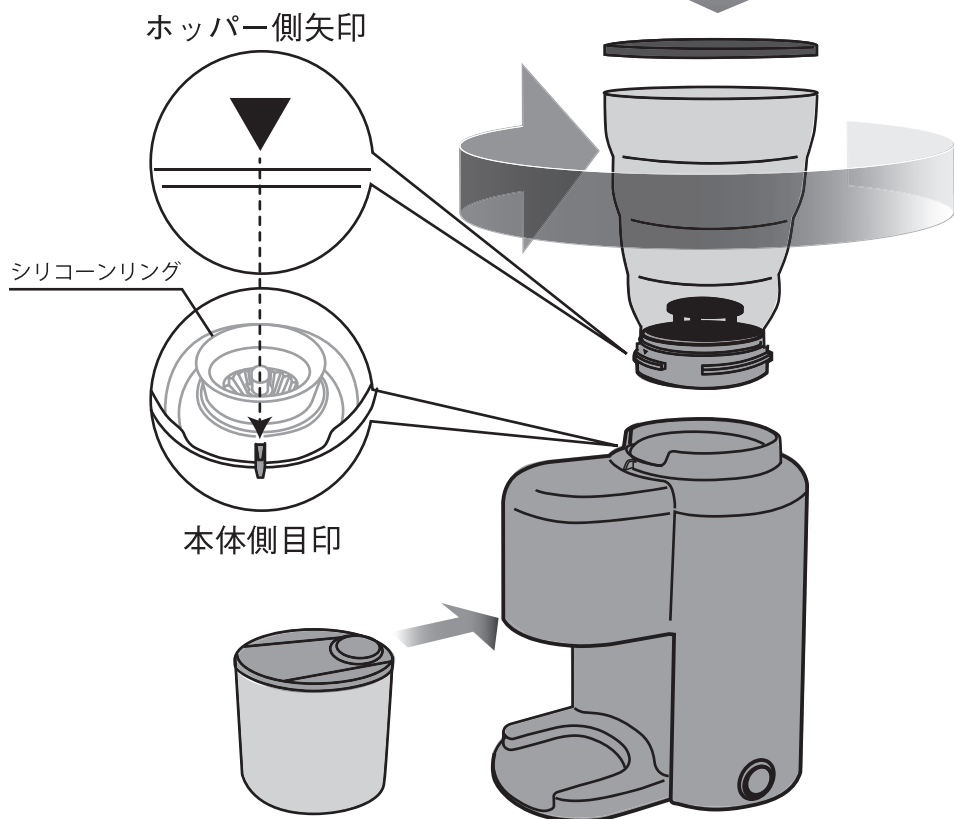


各部の名称



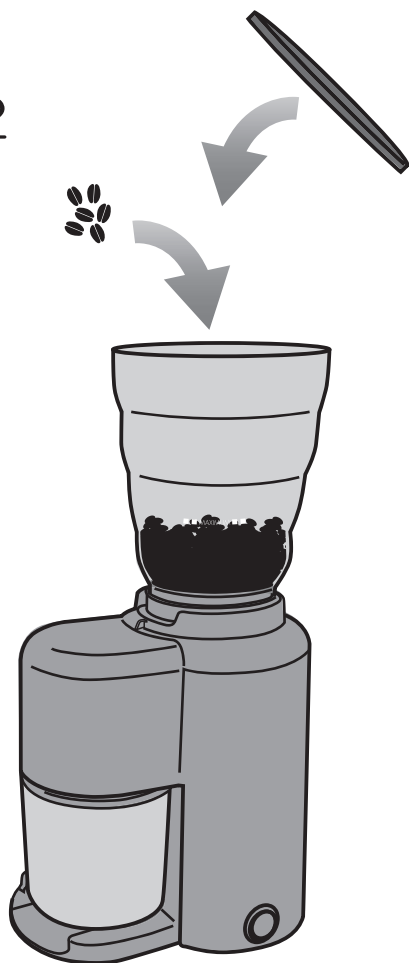
ご使用方法

STEP1



- ①ホッパー側矢印が本体正面の目印の位置に来るように、本体の上面にホッパーを置き、押し込みながら時計回りに回し、ホッパーを取り付けます。
- ②粉受けがきちんとセットされていることを確認します。
※初めて使用する際は、ホッパー・ホッパーフタ・粉受け・粉受けフタ・シリコーンリングを洗浄してください。
※生産工場にて実際にコーヒー豆を入れ、稼働のチェックを行っております。その為、稀にコーヒー粉の除去をしきれず本体に残っている場合があります。

STEP2



- ① コーヒー豆をホッパーに入れます。
- ② ホッパーにフタを取り付けます。フタをしないで稼働させた場合、コーヒー豆が飛び散ることがあります。

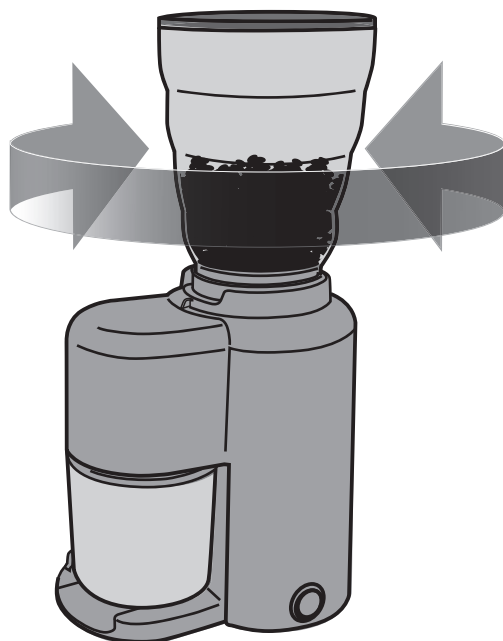
<容量について>

ホッパーの容量は実使用可能量よりも大きく設計されております。粉受けの容量はコーヒー豆約100gと小さいため、ホッパーのMAXの目盛を超えてコーヒー豆を入れないでください。コーヒー粉が詰まった場合、故障の原因となりますのでご注意ください。必ず粉受けの容量規定を守り、数回に分けてご利用ください。

STEP3

細挽き

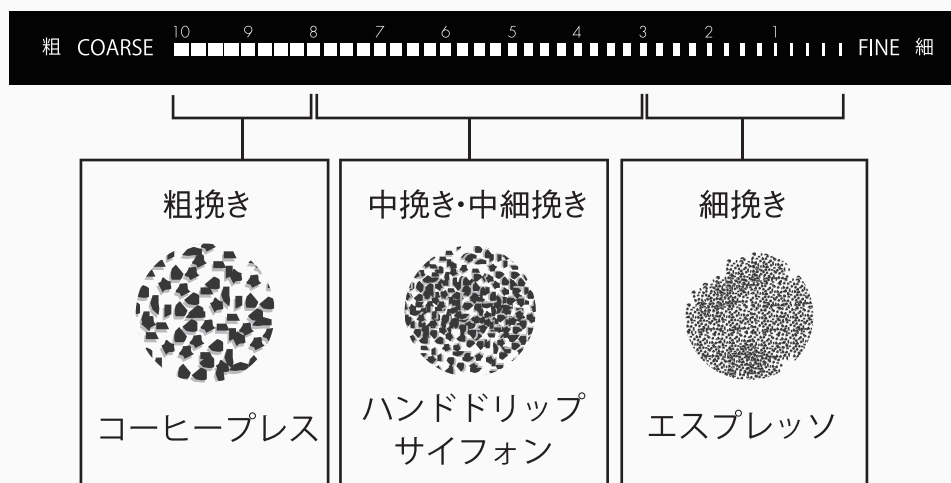
粗挽き



本体をしっかり押さえてホッパーを回し、お好みの粒度に設定します。

<粒度設定について>

粒度目盛でお手持ちのコーヒー抽出器具に適したコーヒー粉の粒度を設定することができます。細かく粒度調整できるため、ハンドドリップ以外にもコーヒーサイフォン、コーヒープレス、家庭用エスプレッソなどに適した設定ができます。

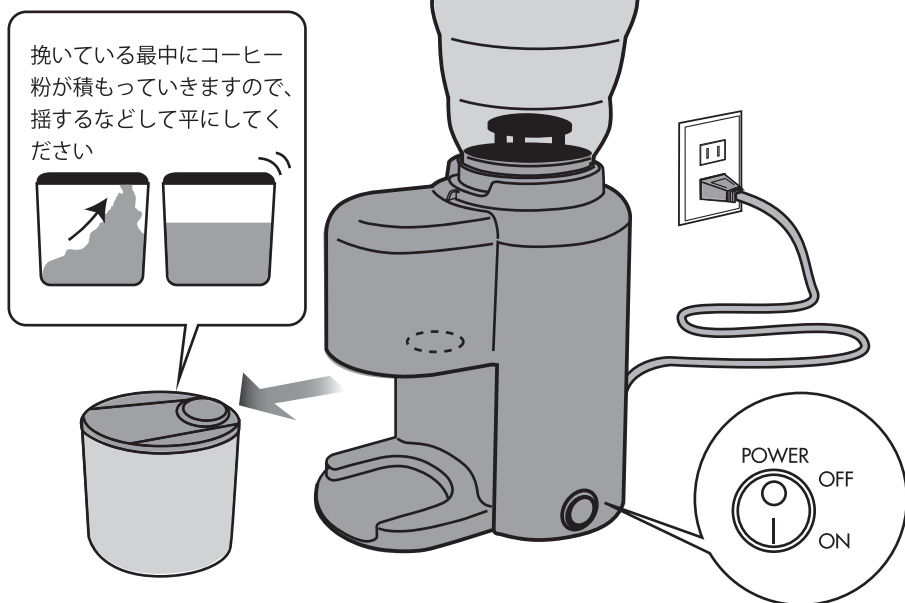


<ご使用時の注意>

- 粒度設定が細かいほど挽き終わりまでの時間がかかります。
- 細挽き設定でご使用の場合、コーヒー粉が詰まることがあります。その場合は、ホッパー・本体を軽く揺するか、付属のブラシで付着したコーヒー粉を落としてください。
- 挽いている最中に臼が空回りする場合があります。その際は、ホッパー・本体を軽く揺すり、豆を落としてください。
- 1以下のメモリはコーヒー豆の種類・焙煎度合いにより挽けない場合がございます。
- 粉受け容量以上のコーヒー豆を一度に挽かないでください。コーヒー粉が詰まる原因となります。

ご使用方法

STEP4

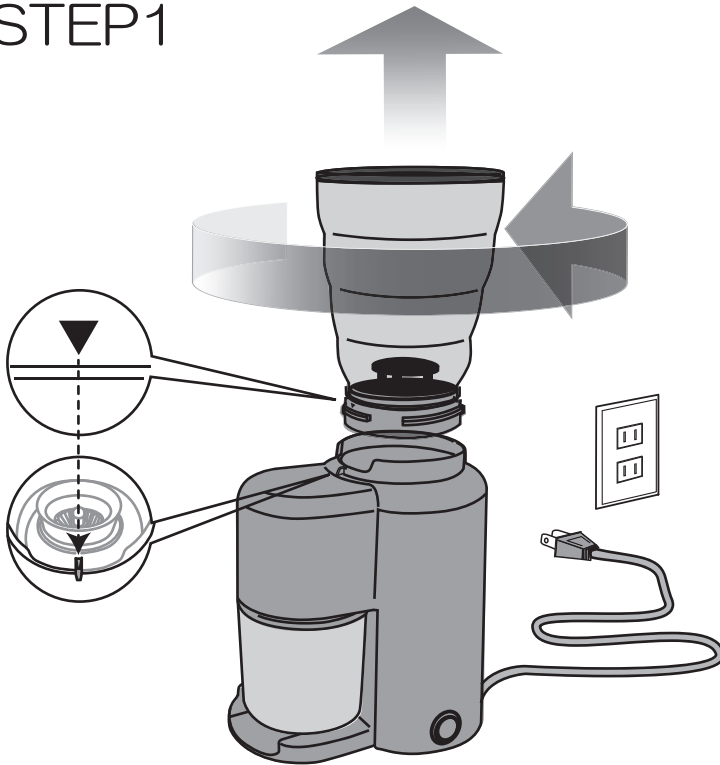


- ①電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②粉受けがセットされていることを確認し、電源スイッチを ON にしてコーヒー豆を粉砕します。
- ③粉砕終了後電源ボタンを OFF にし、粉受けを取り出します。

※粉砕中、モーターの回転が遅いと感じたり、異音等が発生した場合は電源ボタンを OFF にし、状態を確認してください。また、ご使用時は粉受けの状態を確認し、コーヒー粉が粉受けフタの入口に到達する前に電源ボタンを OFF にしてください。OFF にせず挽き続けると本体内に粉が詰まり、故障の原因となります。

お手入れの方法

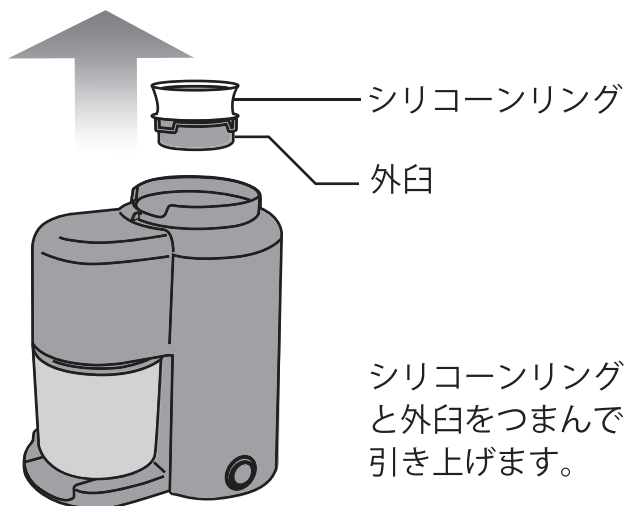
STEP1



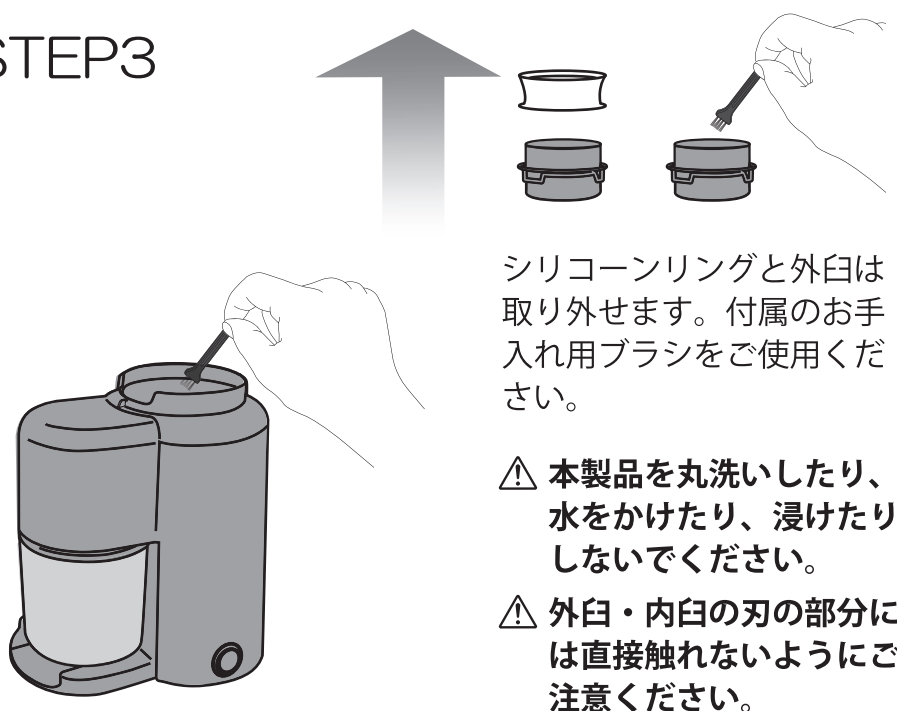
- ①お手入れの際には電源スイッチを「OFF」の位置にし、電源プラグがコンセントから抜いてください。
- ②ホッパー側矢印と本体側目印が合うところまでホッパーを反時計方向に回し、上に引き上げて外します。

お手入れの方法

STEP2

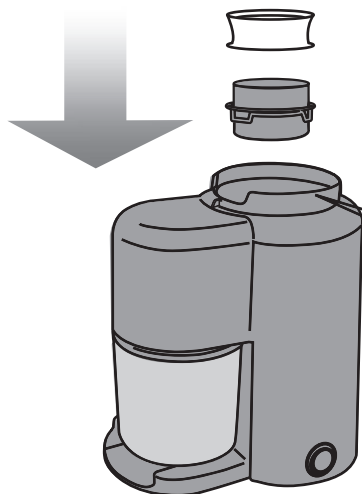


STEP3



お手入れ後の組立方法

STEP1

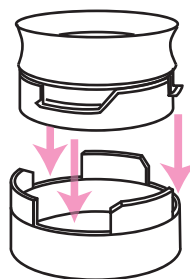


シリコンリングを
外臼にはめ込み、外
臼を本体にはめ込み
ます。

3つの爪がハマリ
合うようにはめ込
んでください

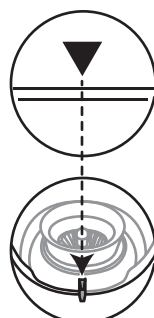
外臼

本体

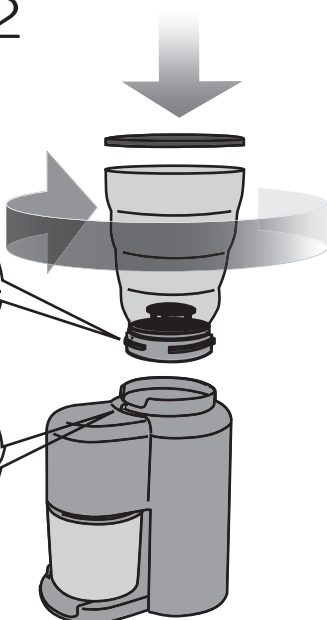


STEP2

ホッパー側矢印



本体側目印



ホッパー側矢印を本体
側目印に合わせ押し込
み、時計回りに回転さ
せます。

故障かな?と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、ご使用を中止してください。その後、下記の内容をチェックしたうえで、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
電源スイッチをONにしても白が回らない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ホッパーがきちんとセットされていない。	ホッパーを正しくセットしてください。
白は回っているが、コーヒー豆が挽けない。	本体内にコーヒー粉が詰まっている。	付属のお手入れ用ブラシを使用し清掃を行ってください。
	粒度とコーヒー豆の相性が悪く、白がコーヒー豆を弾いてしまっている。	粒度の調整を粗くしてください。
粒度調整ダイヤルを回しても粒度が変わらず、粗くしか挽けない。	外白が正しくセットされていない。	取扱説明書 12 ページ「お手入れ後の組立方法」をご覧ください。

電源	AC100V 50 / 60Hz
定格消費電力	150W
ホッパー容量	MAX目盛：約100g (コーヒー豆)
粉受け容量	約100g (コーヒー豆)
サイズ	幅130×奥行185×高さ335(mm)
コード長	0.8m
重量	1.35kg
材質	本体：ポリプロピレン、ポリアセタール、ステンレス、ポリアミド ホッパー・粉受け：AS樹脂 ホッパーフタ：ポリプロピレン

●中国製

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名、お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

必ずご相談窓口までご確認ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

3. 修理用部品の最低保有期間

当社は補修用部品を製造打ち切り後、最低5年保有しています。

■ご相談窓口

HARIO 株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3
フリーダイヤル：0120-39-8208



HARIO

[For General Household Use]

V60 Electric Coffee Grinder Compact

Instruction Manual

Thank you for purchasing this HARIO product.
Please be sure to read this instruction manual
thoroughly in order to use this product correctly.
After reading it, store it in a safe place for future reference.




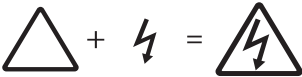

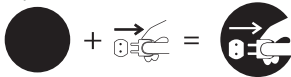
EVC-8-A
説明書 1904

Safety Precautions

Warning Symbols

This instruction manual contains the following warning symbols which are used to ensure safe use of this product and prevent injury to yourself or other people.

These symbols indicate the type of situation that may occur if the product is handled incorrectly. Please read these descriptions thoroughly before reading the instruction manual. Also, please be sure to follow the instructions indicated with these symbols as they are important for your safety.

Symbol	Meaning
 Danger	Indicates a situation that will result in death or serious injury.
 Warning	Indicates a situation that may result in death or serious injury.
 Caution	Indicates a situation that may result in injury or damage to property.
<p>Example</p>  <p>Electric Shock Caution</p>	The \triangle (triangle) symbol indicates a danger, warning or caution. The symbol inside the triangle provides details of the precaution (example to the left indicates an electric shock caution).
<p>Example</p>  <p>Disassembly Prohibited</p>	The \circ (circle) symbol indicates a prohibited act. The symbol inside the circle or text near the symbol provides details of the prohibited act (example to the left indicates that disassembly of the product is prohibited).
<p>Example</p>  <p>Remove the power plug from the wall socket.</p>	The \bullet (black circle) symbol indicates instructions that must be followed. The symbol inside the black circle indicates details of the instruction that must be followed (example to the left indicates the power plug must be removed from the wall socket).

Power Plug and Wall Socket Precautions

⚠ Warning

This product must only be used with a 220-240V AC power supply. Failure to do so may result in fire or electric shock.



Remove the power plug from the wall socket when the product is not in use. When unplugging the plug from the wall socket, be sure to hold the plug. Never hold or pull on the power cable. Pulling the power cable may result in electric shock, short circuits or fire.



Periodically remove dust, etc. from the plug. Dust accumulating on the plug may become wet with humidity and cause an insulation failure, resulting in fire. Unplug the plug and clean with a dry cloth. Avoid spillage on the connector.



Insert the plug fully and securely into the wall socket. Incomplete insertion of the plug may cause electric shocks or heat to be generated, resulting in fire. Do not use the product if the plug is damaged or wall socket is loose.



Make sure to remove the power plug from the wall socket when you are not using the grinder. Failure to do so may lead to injury, burns or electric shock or fire due to insulation deterioration.



Do not insert or remove the plug with wet hands. Doing so may cause electric shock.



Do not use this product if the power cable or plug is damaged, or if the plug fits loosely in the socket. Doing so may result in electric shock, short circuit or fire.



Be careful not to damage the power cord or power plug. Do not damage, apply treatment, bring them close to heating appliances, bend them excessively, twist them, pull them or place heavy objects on them. Using them when damaged may lead to electric shock or fire.



Usage Precautions

⚠ Warning

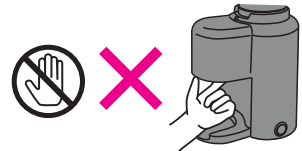
Do not wash, dip or otherwise immerse the body of the grinder in water. Doing so may lead to malfunction or electric shock.



Do not allow children to use the grinder unsupervised and avoid using the grinder within reach of small children. Doing so may lead to electric shock or finger injury.



Do not put fingers directly into the ground coffee nozzle. Doing so may lead to serious injury.



⚠ Caution

Continuing to grind coffee once the powder case is full may cause beans to clog and overload the motor. Do not grind more beans than the MAXIMUM indication on the hopper at one time (see p. 6).



Do not use to grind anything other than coffee beans. Doing so may lead to malfunction or clogging.

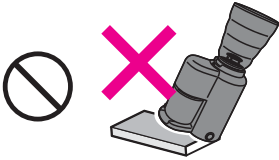


Safety Precautions

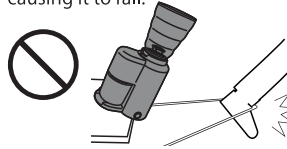
Setup Location Precautions

Warning

Do not use this product at an unstable place. Doing so may lead to injury or malfunction.



Be careful not to catch the power cord on your foot or another object, as doing so may lead to injury from pulling the grinder and causing it to fall.



Caution

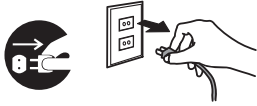
Do not use in a location that is exposed to direct sunlight for long periods, where pets walk regularly, or in a location that has high humidity such as a bathroom. Doing so may cause deformation, malfunction, accidents or fire.



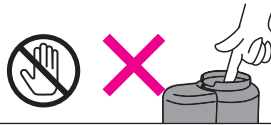
Cleaning

Warning

Turn off the power and remove the plug from the socket when cleaning the product. Failure to do so may result in injury.



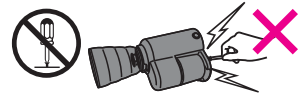
Avoid making direct contact with the burr when cleaning it, as doing so may lead to injury. Make sure to clean it with the supplied brush.



In the Event of Malfunction

Warning

The product must not be disassembled, repaired or modified unless by a qualified repair technician. Doing so may result in fire or malfunction.



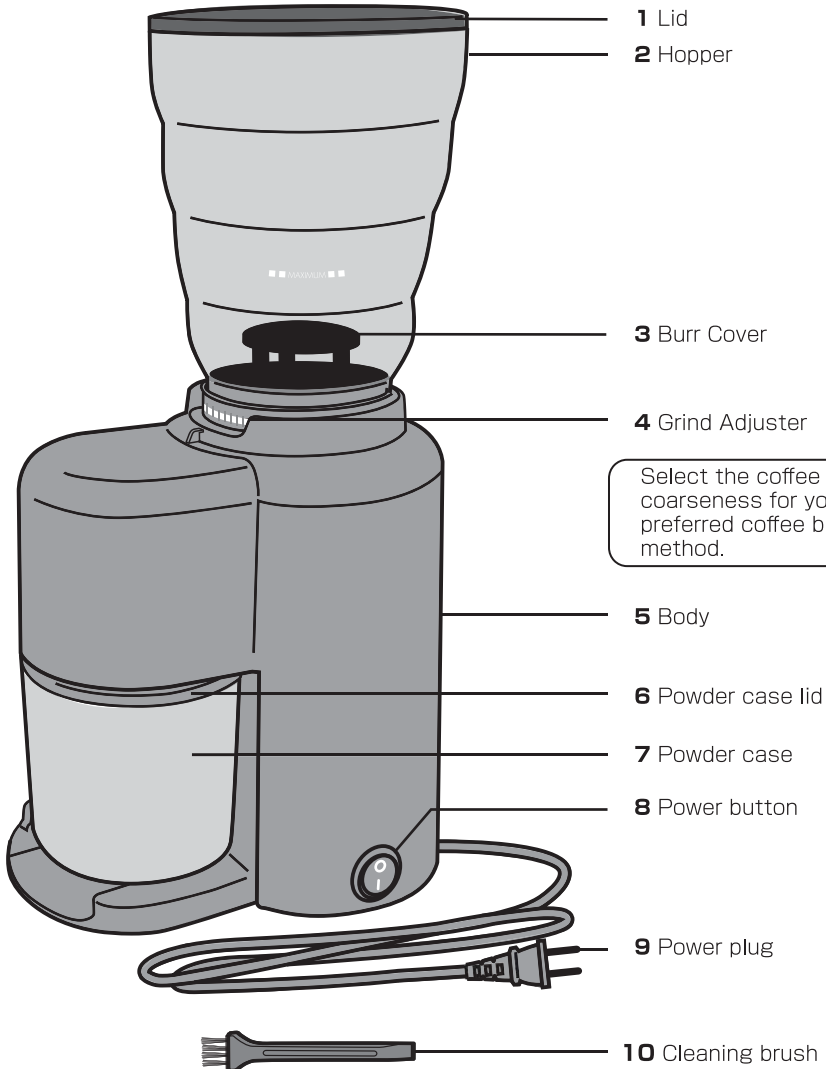
Discarding the Grinder

Caution

Separate parts and discard the grinder only as specified by local law.

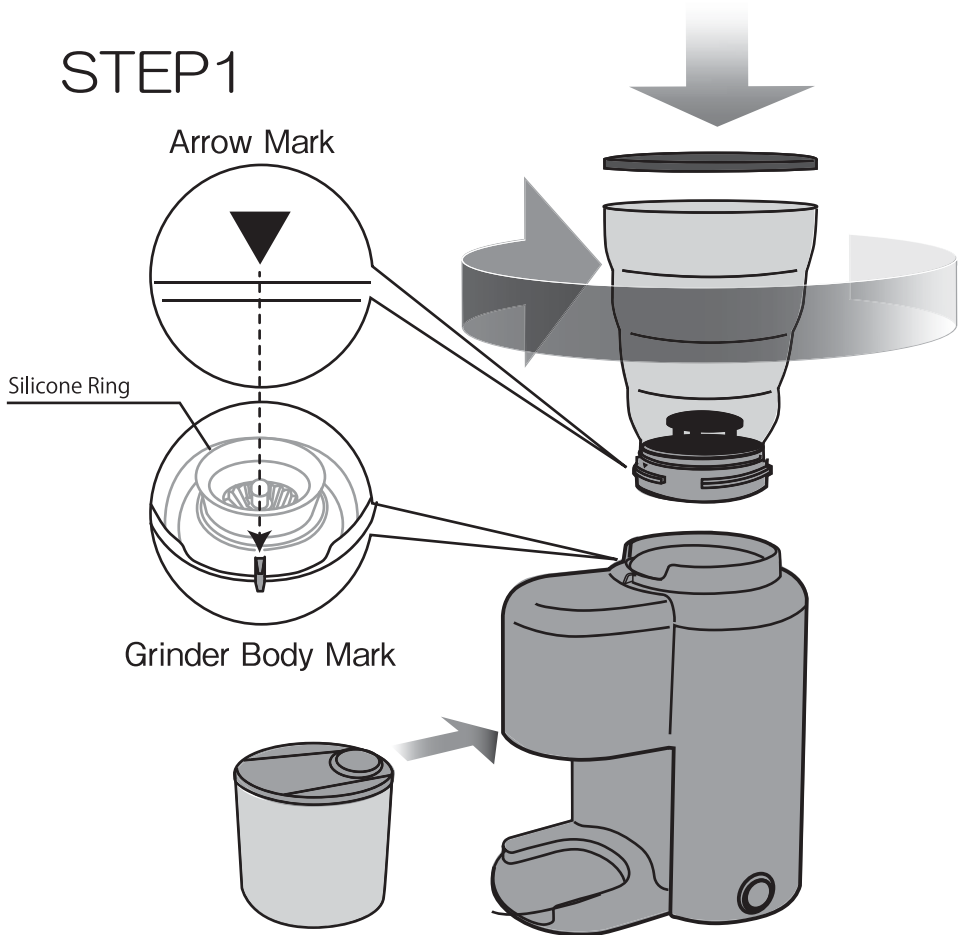


Parts List



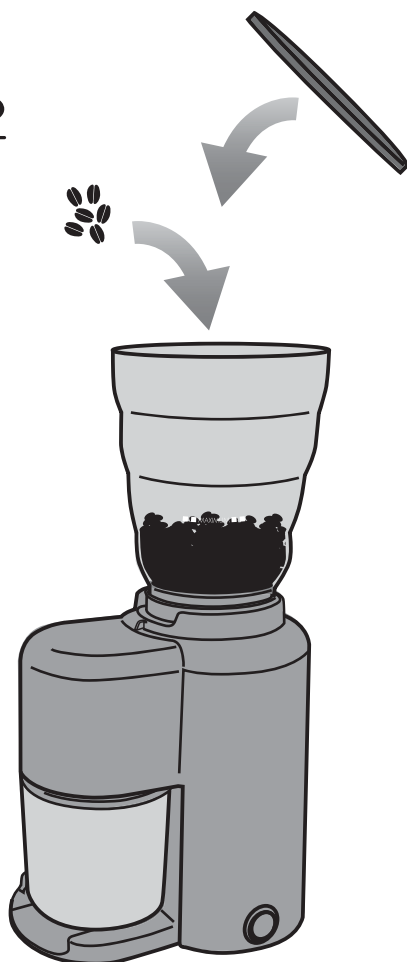
Usage Instructions

STEP 1



- ① Put the hopper on the top of the body of the grinder so that the arrow mark is in the front of the body, then push the hopper in and rotate clockwise to attach it.
- ② Make sure the powder case is set correctly.
 - ※ Wash the hopper, hopper lid, powder case, powder case lid and silicone ring before using the grinder for the first time.
 - ※ We grind coffee beans for operational checking at the factory, so in some cases, those ground beans may not have been completely removed and some may remain inside the body of the grinder.

STEP2



- ① Put coffee beans in the hopper
- ② Attach the lid to the hopper. Coffee may fly out of the hopper during use if the lid is not attached.

<Capacities>

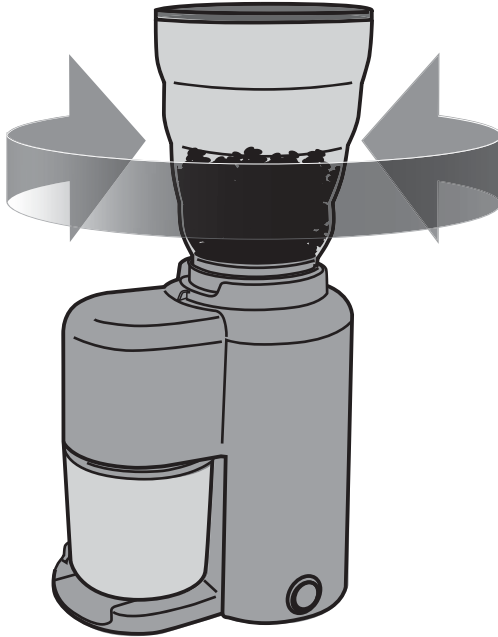
Hopper is designed to have a larger capacity than its practical capacity. Do not fill the hopper with coffee beans over "MAXIMUM" indication on hopper; "MAXIMUM" indication and powder capacity are approx. 100g for Coffee beans. The stuck coffee grounds may cause malfunction. Follow the capacity of powder case and grind several separate times if needed.

Usage Instructions

STEP 3

Fine

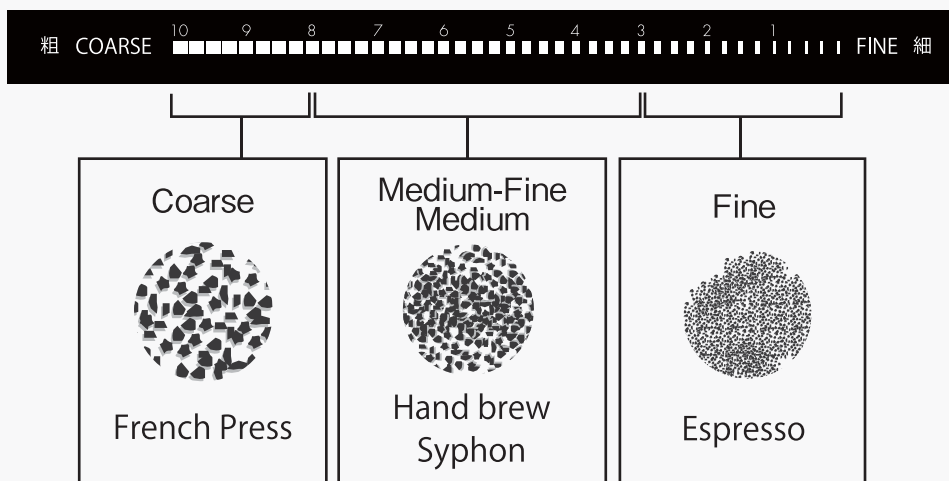
Coarse



Hold the body of the grinder securely and rotate the hopper to set the coarseness of the grind to your preference.

<Setting the grind coarseness>

Use the grind adjuster to select the coarseness of the grind for your preferred coffee brewing method. The grind can be adjusted to a fine grind for the V60 pour-over, or as needed for coffee syphons, French presses, household espresso makers and other coffee brewing methods.

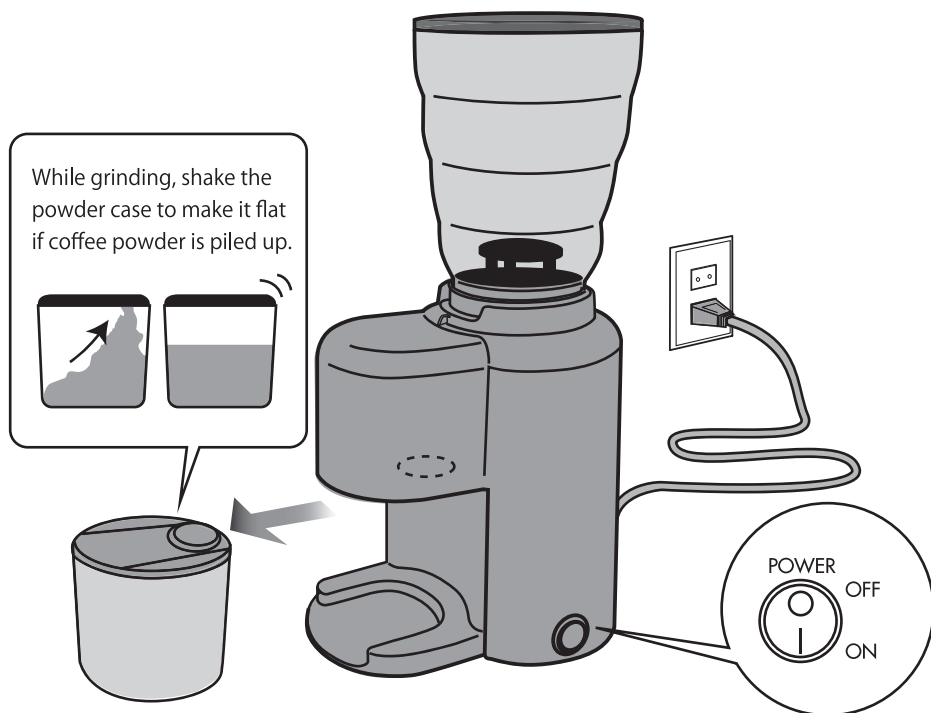


<Caution for usage>

- Grinding takes longer for finer grinds.
- Ground coffee may become clogged on fine grind settings. Should this happen, lightly shake the hopper and grinder body to free stuck grounds.
- The burr may fail to catch coffee beans while grinding. Should this happen, lightly shake the hopper and grinder body to help the beans fall through.
- Settings lower than level 1 may not be usable for some coffee bean types and roasts.
- Do not grind the coffee beans over powder case capacity one time. Coffee grounds may stuck .

Usage Instructions

STEP4

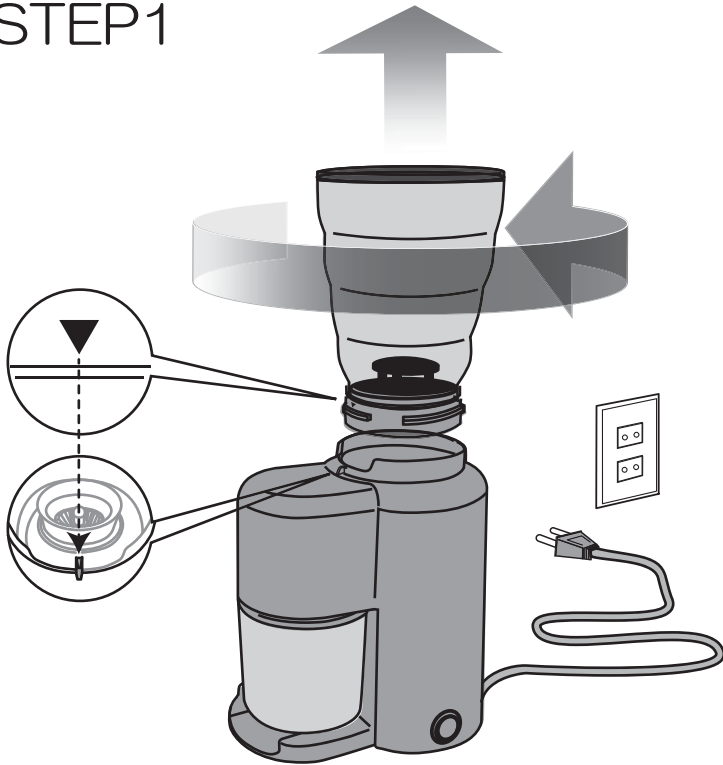


- ① Make sure the power button is set to off and plug in a wall socket.
- ② Make sure the powder case is set then turn the switch on to grind coffee beans.
- ③ Once you are done grinding, turn the switch off and remove the powder case.

※ While grinding, turn the switch off and check the condition of the grinder when motor rotation were slow or making strange noise. And also check the powder case and turn the switch off before coffee grounds reaches powder case lid. If keep grinding after reaching, it may cause malfunction.

Product Care

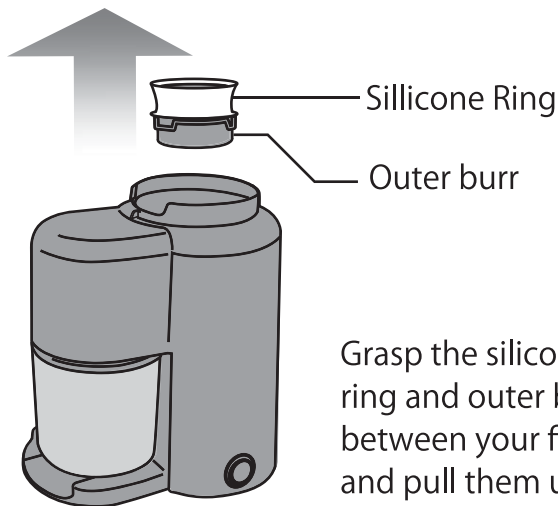
STEP 1



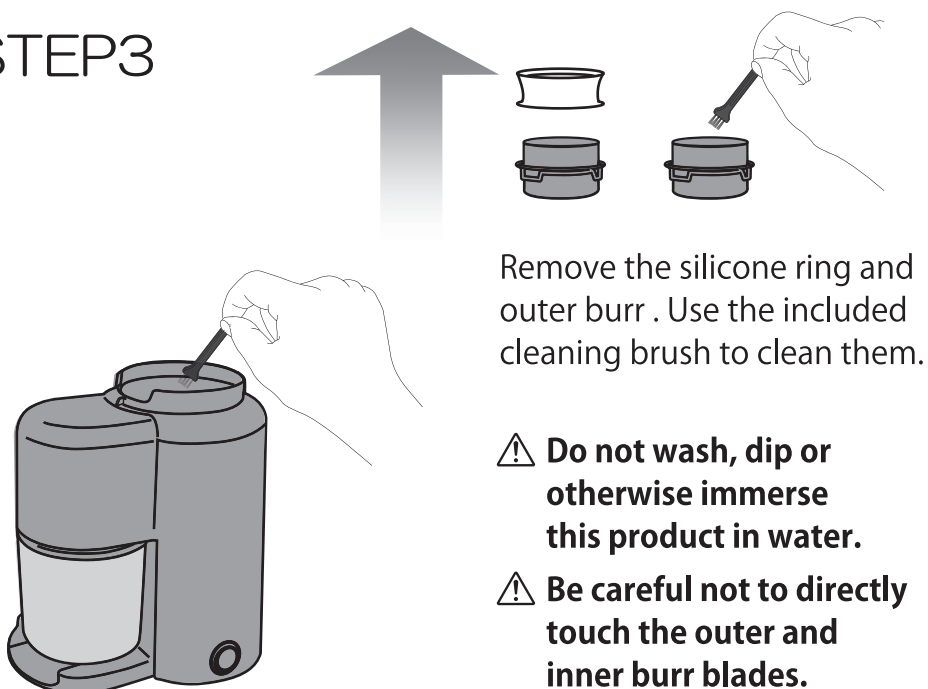
- ① Before cleaning, make sure the power button is in the off position and the power plug is not connected to a wall socket.
- ② Rotate the hopper counterclockwise until the arrow on the grind adjuster is aligned with the mark on the body of the grinder, then pull up to remove it.

Product Care

STEP 2

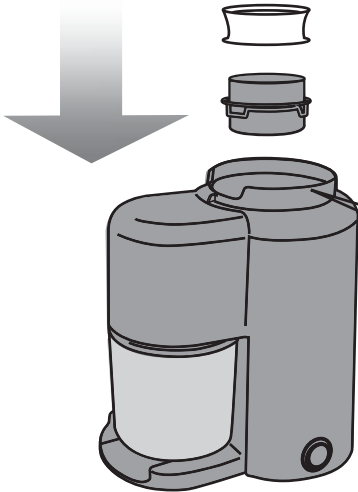


STEP 3

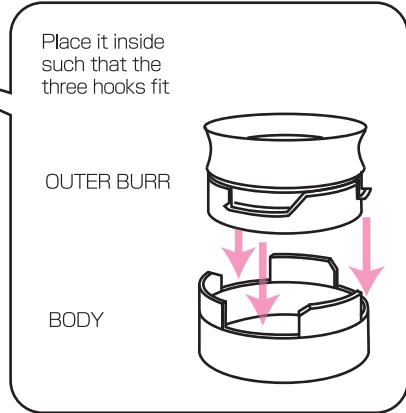


How to Assemble After Cleaning

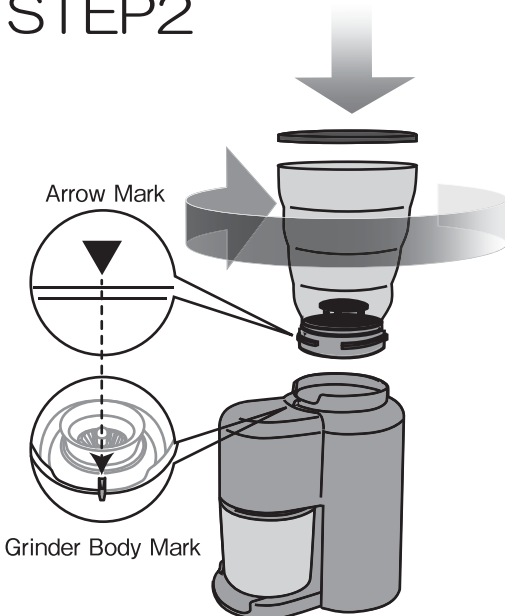
STEP 1



Put the silicon ring in the outer burr, then put the outer burr into the grinder body.



STEP 2



Align the arrow mark on the hopper and the mark on the body, push in the hopper and rotate it clockwise.

Troubleshooting

Problem	Cause	Solution
The burr does not rotate, even when the power is switched on.	The power plug is not connected to a wall socket.	Plug the power plug into a wall socket.
	The hopper isn't set correctly.	Make sure the hopper is set correctly.
The burr is rotating, but coffee beans are not being ground.	Ground coffee is clogged inside the grinder body.	Use the included cleaning brush to clean it.
	The grind does not seem to be working for the coffee beans, which are being repelled by the burr.	Adjust the coarseness of the grind.
Turning the grind adjuster dial does not change the coarseness of the grind from a coarse grind.	The outer burr is not set correctly.	See "How to Assemble After Cleaning" on page 12 of the instruction manual.

Power Source	AC220V~ 50Hz
Rated Power Consumption	150W
Hopper Capacity	MAXIMUM Indication : approximate 100g (Coffee beans)
Powder case Capacity	approximate 100g (Coffee beans)
Size	W130 × D185 × H335(mm)
Cable Length	0.8m
Weight	1.35kg
Materials	Grinder body: Polypropylene, Polyacetal, Stainless steel, Polyamide Hopper powder case: AS resin Hopper lid: Polypropylene

●MADE IN CHINA